

# 下北山

## 人の動き

平成 23 年 2 月 1 日現在

		先月1日比	前年同日比
人 口	1,160人	(+ 2)	(-32)
男	543人	(+ 1)	(-13)
女	617人	(+ 1)	(-19)
世帯数	634戸	(+ 1)	(-11)

発 行 奈良県吉野郡下北山村役場  
Tel(代)07468-6-0001  
<http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/>



ご卒業  
おめでとう  
ございます



平成23年(2011)

4

No.646

## 平成23年度 施政方針

3月11日に開会された平成23年第1回村議会定例会において、上平村長は23年度における施政方針について、次のとおり説明しました。

平成23年度当初予算案並びにこれらに関する諸議案のご審議をお願いするに当たり、新年度の施政方針を申し述べ、議員各位並びに、村民の皆様のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

わが国の経済情勢は、平成20年秋にアメリカで端を発した世界的な金融危機以降、外需や政府の景気刺激策により緩やかな持ち直しを見せているものの、本格的な回復には至っておらず、依然として雇用の悪化やデフレ状態が続くなど厳しい状況下にあります。

国においては、一昨年に民主党による「政権交代」という大きな変化がありました。昨年の参議院選挙の結果、いわゆる衆議院と参議院とのねじれ現象による不安定な政権運営が続いており、国民の将来に対する不安感も増しているものと感じております。

本村におきましても、国内政治の不安定や日本経済の低迷が続く、閉塞感が根強い社会経済情勢のも

と、歳入面では厳しい経済情勢の影響による村税収入の減少が避けられない状況です。また、歳出面においては福祉や医療、観光事業等に係る経費の増加傾向が続くなど、厳しい財政運営を迫られております。

私は村の総合計画の策定時に、分かりやすい目標として、「赤ちゃん誕生10人」を掲げました。そしてその為には、村に雇用の場所を確保し、若い人に定住していただくことが必要であると考え、雇用の場の創出事業に力を注いできました。しかし残念ながら未だ効果を出すには至っていません。

昨年の国勢調査の結果からもわかるように、大変厳しい過疎化の波が打ち寄せてきていますが、このような状況を踏まえ、村では、国・県等と連携を密にし、村民の暮らしに直結する地域経済の活性化や雇用対策、高齢化への対応そして少子化対策等の重要課題に立ち向かい、村民の皆様が安心と希望を持って暮らしていただける村づくりに全力を傾注してまいり存です。

地域を支えるのは人です。特に若い人に定住していただくための雇用の場の創出に、今後とも全力で取り組んで行く考えです。

平成23年度予算ですが、歳入に

おいては、今年度も景気の低迷により村税収入の大幅な減額が見込まれており、国・県支出金や地方交付税等の依存財源に頼らざるを得ない状況にあります。

歳出におきましては、人件費、公債費が減少しております。また、繰出金については、簡易水道特別会計、スポーツ公園管理運営特別会計への繰出金が減少したものの、診療所特別会計、介護保険特別会計への繰出金が増えるなど、依然として多額となっております。

平成23年度一般会計予算案の総額は、16億3千400万円で、前年度と比較しますと6千6百万円、3.9%の減となっております。

また、一般会計、特別会計7会計を合わせた全会計の予算総額は、21億2千135万2千円、前年度との比較では8千26万6千円、3.6%の減となっております。

平成23年度の主な事業としては、総務費関係では、地域活性化プロジェクト事業として本村の重要課題であります雇用対策、高齢者支援対策等について、具体的かつ有効な提案をしていただくための委員会を立ち上げます。

また、地域への活性化対策として、地域の事業等を支援する地域活性化臨時交付金事業を実施いたします。単年度事業ではありません。

が、地域において、有効的に活用していただければと考えております。

その他、総務費関係では住民基本台帳法改正による外国人登録関係のシステムリース料、統一地方選挙関係の経費を計上しております。

民生費関係では、下北山村生活支援ハウス「いこいの郷」の管理について、引き続き5年間、下北山村社会福祉協議会を指定管理者として指定し、高齢者福祉の拠点としてさらなる福祉サービスの向上を目指します。

また、公民館サロンをはじめとした高齢者の各種健康づくり事業の推進に努めます。

水力発電交付金事業を活用して、安全で安心な保育実現のために、保育所及び桑原体育館の屋根の改修を行います。

保健衛生費関係では、昨年度に引き続き、総合健診をはじめとした各種検診事業を実施し、村民の健康づくりに努めます。

母子保健事業では、母子の健康の確保や、乳幼児の健全な発育発達を支援するための各種検診を実施するとともに、「にこにこ子育て広場」や「子育て相談会」等、育児を行っている保護者同士の情報交換や交流の場を提供するため

の事業を引き続き実施します。

また、昨年度に引き続き、「こころの健康づくり事業」の実施や子宮頸がんワクチン等の接種に対する助成を行なうほか、新たに不妊治療に対する助成を行います。

環境関係では、昨年度からの継続事業として、「村内防犯灯LED化事業」を実施します。今年はスポーツ公園内を中心に整備を行いません。

雇用対策事業として、国の交付金を活用した「ふるさと雇用創出事業」・「緊急雇用創出事業」を実施し、雇用の確保に努めます。

有害獣対策としては、有害獣防除柵設置補助金や有害駆除奨励補助金の交付を行なうほか、地域住民が組織した地域協議会による鳥獣被害防止対策に取り組みます。

林業振興としては、国や県の補助金を活用した間伐事業を行うほか引き続き、林道四ノ川2号線、林道トボト谷線の環境保全事業等を実施し、森林の健全な保全と地域林業の振興に取り組みます。

また、緊急雇用を活用した「村有林整備事業」による、境界杭の設置や実測を行うことにより、今後の村有林整備に活用してまいります。

商工観光の振興としては、昨年同様、商工会への運営補助金をは

じめ、さくら祭、夏祭り、下北山

フェスタ、イルミネーション等のイベントに対し補助金を交付するほか、緊急雇用を活用した「地域情報発信事業」による、地域観光案内や特産品等の情報発信を行い、村内観光事業の推進に努めます。

道路整備としては、村道上池原ダム線、村道前鬼釈迦線、村道池郷線の災害防除工事を行うほか、緊急雇用事業を活用した、村道及び林道を含めた観光連絡道路等の調査の実施により、危険箇所の抽出、防災点検、橋梁等の対策工法の検討を行い、引き続き安全な道づくりの推進に努めます。

災害対策関係では、衛星電話を購入することにより、災害時等における通信手段の確保に努めます。教育費関係としては、今年10月に上・下北山村で開催されます奈良県へき地教育研究大会の経費を計上しております。

また、学校管理費では、小学校の体育館及び校舎のトイレ改修工事を実施するほか、「放課後こども教室事業」の実施や、ALTを活用した小中学校での英語教育を推進します。

以上、平成23年度施政方針と当初予算案に計上しております重点事項事項でございます。

平成23年 第1回

下北山村議会  
3月定例会を開催

3月11日から3月17日まで、予算審査特別委員会を挟み、村議会3月定例会が開催されました。

今回の議案は、平成22年度一般会計及び特別会計補正予算8件、条例の改正など7件、平成23年度一般会計予算案及び特別会計予算案8件が上程され、すべての議案が原案どおり可決決定されました。主な議案は次のとおりです

- ★専決処分承認を求めることについて
- 下北山中学校体育館改築工事請負契約の変更に係るものです。
- ★下北山村住民生活に光をそそぐ基金条例
- 地域活性化交付金事業の実施に必要な条例の制定です。
- ★吉野郡1町6村における、戸籍共同電算化、戸籍事務にかかる電子情報処理組織の事務委託に関する規約の制定について
- 下北山村と吉野広域行政組合との間における、戸籍事務にかかる事務委託のための規約の制定です。
- ★下北山村生活支援ハウスの指定管理者の指定について
- 下北山村生活支援ハウス「いこの郷」の管理を引き続き下北山村

村社会福祉協議会に指定するものです。

★職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例

法律の一部改正に伴う条例の整備です。

★下北山村心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例

法改正にかかる条例の整備です。

★下北山村特別会計条例の一部を改正する条例

下北山村老人保健特別会計及び介護サービス事業勘定特別会計が平成23年3月31日でなくなることに伴う条例の改正です。

★平成22年度下北山村一般会計補正予算(第4号)

33, 441千円が追加補正されました。主なものとしては、臨時交付金による財政調整基金への積み立て及び繰り越し事業です。

★平成22年度下北山村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

2, 622千円が減額補正されました。これは医療費の減額によるものです。

★平成22年度下北山村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)

増減はなく、予算の組み替えを行いました。

★平成22年度下北山村簡易水道特別会計補正予算(第3号)

673千円が追加補正されました。これは、修繕料の増額によるものです。

★平成22年度下北山村池の平公園管理運営特別会計補正予算(第2号)

増減はなく、予算の組み替えを行いました。

★平成22年度下北山村スポーツ公園管理運営特別会計補正予算(第4号)

1,656千円が追加補正されました。主なものとして、一般会計からの繰入金等です。

★平成22年度下北山村老人保健特別会計補正予算(第1号)

339千円が減額補正されました。これは医療費の減額によるものです。

★平成22年度下北山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

287千円が減額補正されました。医療費の減額によるものです。

★平成23年度下北山村一般会計予算及び特別会計予算について

予算審査特別委員会に付託された平成23年度一般会計予算及び特別会計予算については、3月14日から17日までの4日間で審査が行われ、委員会で承認後、午後からの本会議で可決されました。

なお、歳入歳出総額はそれぞれ16億3,400万円でした。

昨年同様、景気後退の影響により、村税減収が見込まれる中、地方交付税等、依存財源に頼らなければならぬ状況ではありますが、財政健全化と必要な施策の実現を目指した予算となりました。

●その他報告関係事項  
規則及び要綱の一部改正等が10項目ありました。

### 「一般質問」

【質問者：北 議員】

【質問】新聞報道では、下北山村の経常収支比率が96.3%という数字になっていたが、この数字の示すところの意味を伺いたい。

【答え】村長 スポーツ公園や池の平ゴルフ場、そして福祉関係では「いこいの郷」の運営など、事業を充実させると費用も伴うところですが、雇用の創出効果などもあり、他町村に類を見ない事業を行なっているところであります。

今後健全財政を目指しながら、これらの事業を更に進めて行きたいと思っています。

【質問】高齢者福祉対策のひとつである緊急警報装置の設置の必要性をどのように考えておられるか。

【答え】保健福祉課長 現在も村では緊急通報装置の必要な高齢者に対し、レンタルで設置をしております。今後も必要に応じ、対応して行きたいと思っています。また、一人暮らしに不安を感じている高齢者については「いこいの郷」への入居を勧める事も考えられると思います。

【質問】村民の家電リサイクル品の処理方法について、処理費の負担軽減の方法を検討できないか。

物品によっては、業者が安価で引き取ってくれるとの事であるので、村で取り扱ってもらえないか。

【答え】住民課長 村では家電リサイクル法に基づいて適正に処理を行っておりますので、特定の業者に村が関わることは一切出来ません。

【質問】村長は今回の地方統一選挙における村長選挙に対し、出馬表明をされないのか。

【答え】村長 行財政改革を柱に、これまでの8年間の実績として、当時約42億円の借金がありました。22年度末には約21億円まで返済する事が出来ました。また、役場の職員数が56名であったのが、23年4月現在では42名となり、大幅に削減されました。その分、職

員には負担がかかっておりますが、頑張ってもらっているところです。反面、赤ちゃん誕生10人を掲げたところでございますが、残念ながら若者が減っていく中で、年間3〜4人の誕生が現状でございます。そういった中で、教育や福祉の充実には言うまでもなく、これからは雇用の確保を一番の柱とし、活力のある村づくりを目指し、取り組んで参りたいと考えて出馬を表明致すところでございます。

【質問者：正治議員】

【質問】高校就学に係る費用は、家庭生活費の中でもかなりウエイトを占めるところである。不妊治療への助成金や妊産婦、或いは小児の健康診査やワクチン接種に係る費用の助成制度と同様に、奨学金の貸付制度ではなく、新たな「高校就学援助金制度」(仮称)を立ち上げてはどうか。

【答え】教育長 他町村の例にならう訳ではありませんが、こういった助成制度を行っているところは見当たりません。一部、交通費を助成しているところもあるようですが、これらの制度については慎重に検討をしたいと思っております。

# 役場人事異動の お知らせ

4月1日付けで役場職員の人  
異動等がありました。

(カッコ内は旧職)

敬称略

○昇任(4月1日付)

■教育委員会 次長

森岡和久

(教育委員会主幹)

■会計管理者

徳本貢一(出納室主幹)

■議事事務局長

山崎勝朗

(議事事務局主幹)

■産業建設課 係長

福本浩典

(産業建設課主査)

■総務課 係長

谷口英雄(総務課主事)

○異動(4月1日付)

■住民課 係長

杉岡貴司

(下北山村社会福祉協議会)

■教育委員会 主事

杉本陽介(国保診療所)

■下北山村社会福祉協議会

事務長代理

和田英樹

(教育委員会)

■総務課 主事

橋詰和泉(住民課)

■保健福祉課 主事

竹本知昭(総務課)

■保健福祉課・国保診療所 主事

上田真吾(産業建設課)

■住民課 主事

中村洋章(保健福祉課)

○新規採用(4月1日付)

■産業建設課主事補

北直紀

○退職

■保健福祉課 主幹

中村良行

(平成22年12月31日付)

■住民課 主事

谷本元洋

(平成23年2月28日付)

■住民課 主幹

中門博行

(平成23年3月31日付)

■産業建設課 課長補佐

東邦雄

(平成23年3月31日付)

## 山村留学

### 山びこ寮退寮式

3月24日山村留学『山びこ寮』  
で、平成22年度の退寮式が行われ  
たくましく成長した6名の児童が  
山びこ寮から巣立っていきました。  
今回退寮された平成22年度の寮  
生は、大阪府から1名、県内から  
5名(内2名は、平成21年度から  
の継続者)で1年間を通して、な  
れない集団生活から協調性、コミュ  
ニケーションを育み、時には喧嘩  
や意見をぶつけ合い切磋琢磨しな  
がら大きく成長してきました。  
寮生の中には、もう一年継続を  
希望した児童もいましたが、平成  
23年度の募集においては、2名の  
希望者であったため、止む無く1  
年間閉鎖という事になってしま  
いました。

■下北山むらづくりセンター

調理員

森下幸治

(平成23年3月31日付)

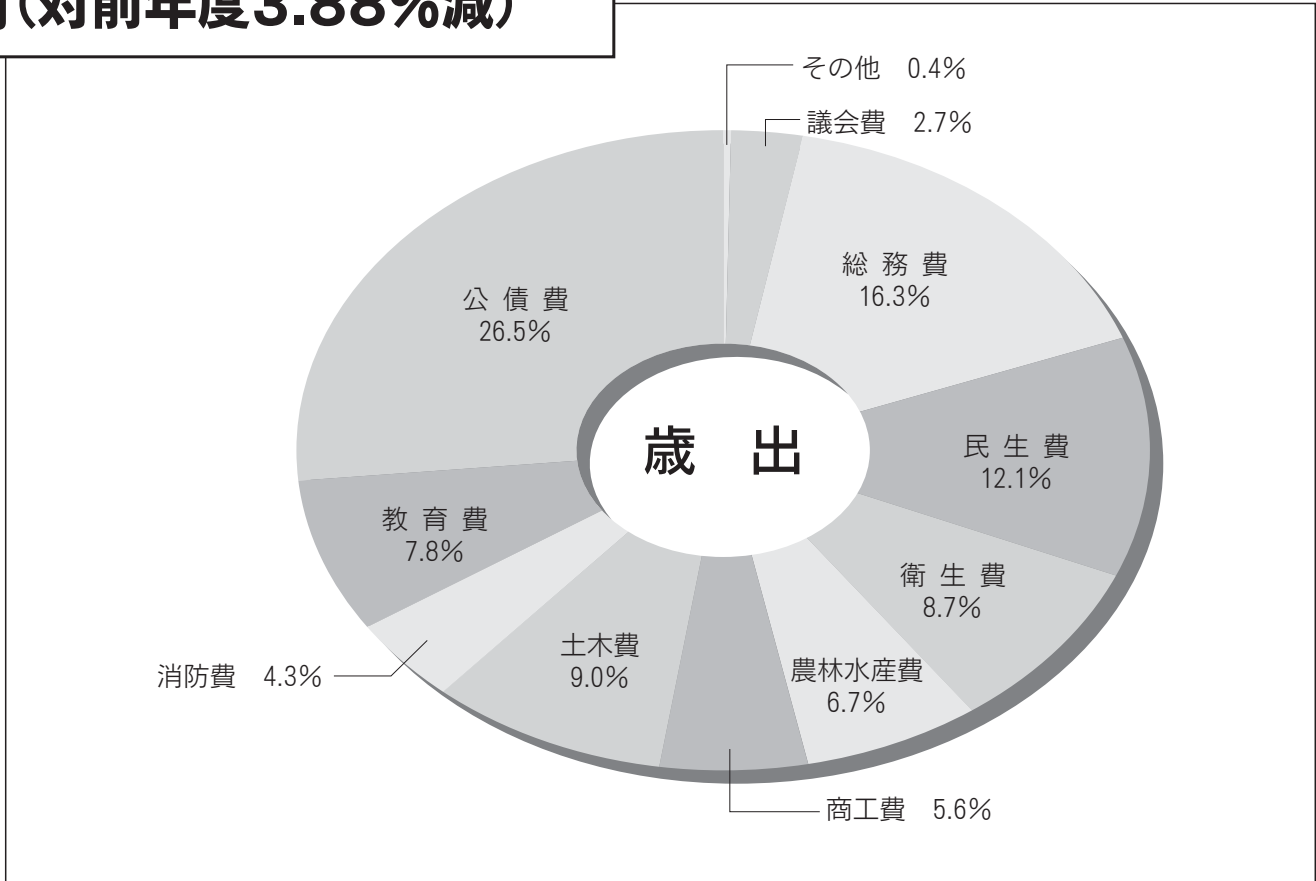
なお、村当局としましては、今  
後24年度からの再開を目指して努  
力してまいりますので、引き続き  
村民の皆様から都会の親類やお友  
達等への情報発信、施設運営に対  
してのご指導ご協力を賜りますよ  
うお願いいたします。



# 2,135万2千円 (対前年度3.65%減)

23年度当初予算の概要は次のとおりです。

## 0万円 (対前年度3.88%減)



### 一般会計 (歳出)

(単位: 千円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	合計
44,049	265,618	197,316	142,768	108,759	91,678	146,526	69,875	127,765	432,335	7,311	1,634,000

### その他の内訳

労働費	予備費	計
3,800	3,511	7,311

## 基金の状況 (一般会計分)

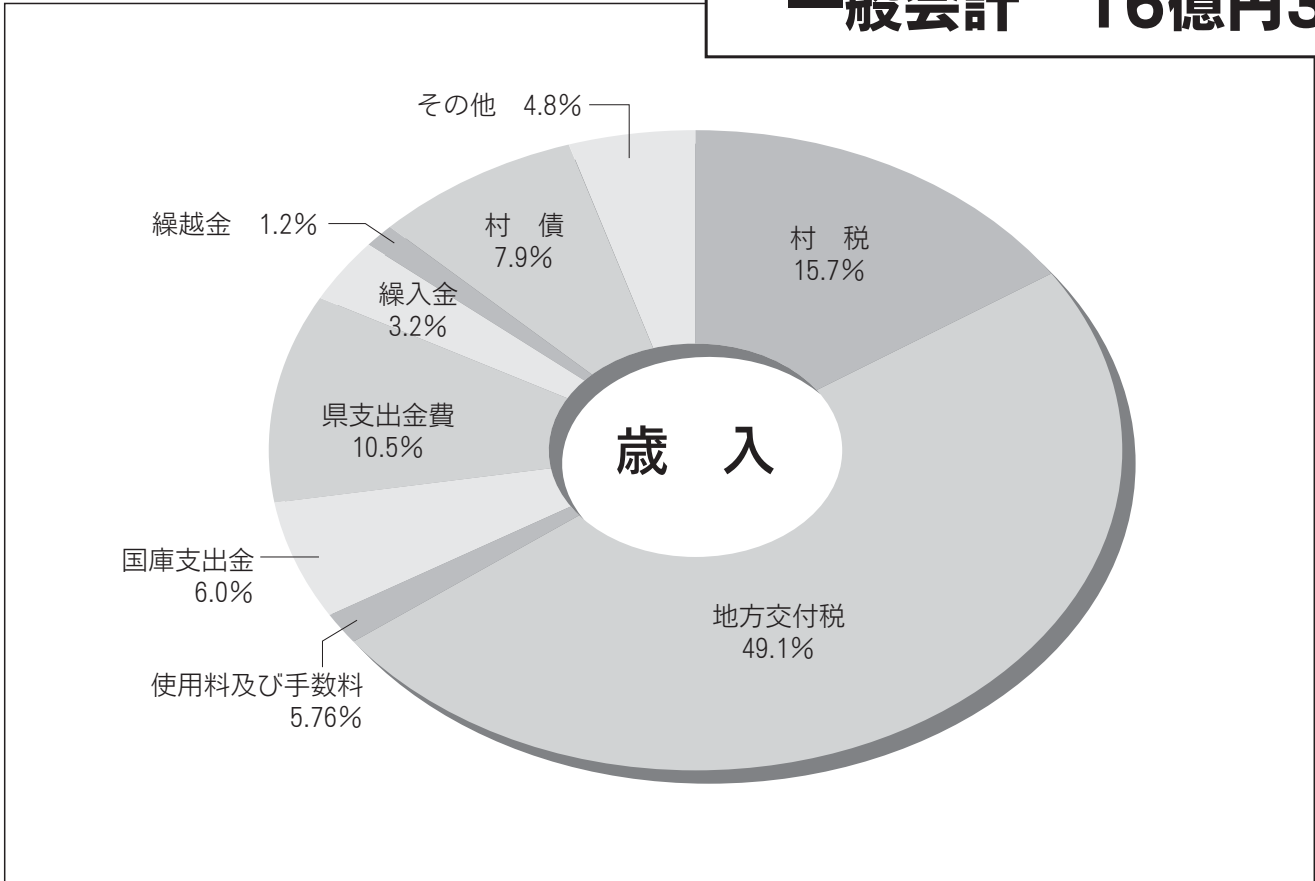
(単位: 千円)

基金の名称	平成22年度末 現在高(見込)	平成23年度末 現在高(見込)	基金の名称	平成22年度末 現在高(見込)	平成23年度末 現在高(見込)
財政調整基金	502,388	532,887	ふるさと基金	66,146	26,043
減債基金	83,106	93,295	公共施設基金	74,040	74,170
地域福祉基金	269,511	260,891	漁業施設基金	27,400	25,600
庁舎建設基金	296,517	297,157	その他	93,700	94,471
			計	1,412,808	1,404,514

# 平成23年度 当初予算 総額 21億

3月定例議会において承認された、平成

## 一般会計 16億円3,400



### 一般会計 (歳入)

(単位: 千円)

村税	地方交付税	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	繰入金	繰越金	村債	その他	合計
255,866	802,204	26,937	98,191	171,809	52,043	20,000	128,300	78,650	1,634,000

### その他の内訳

地譲与税	交付金	分担金及び負担金	財産収入	寄付金	諸収入	合計
14,929	24,423	11,481	11,476	1,101	15,240	78,650

## 特別会計 4億8,735万2千円 (対前年度2.84%減)

	国民健康保険	診療所	簡易水道	池の平公園	スポーツ公園	老人保健	介護保険	介護サービス	後高齢者	合計
H23年度	136,884	82,408	49,200	5,326	43,707	0	150,427	0	19,400	487,352
H22年度	154,195	77,817	59,050	5,251	51,885	937	131,207	576	20,700	501,618
差額 (千円)	▲17,311	4,591	▲9,850	75	▲8,178	▲937	19,220	▲576	▲1,300	▲14,266
前年度比 (%)	▲11.23	5.90	▲16.68	1.43	▲15.76	皆減	14.65	皆減	▲6.28	▲2.84

# ご卒業・ご卒園おめでとーございませう

卒業・卒園のシーズンを迎え、中学校では3月16日、小学校が3月23日、保育所が3月25日にそれぞれ式が挙行されました。

4月からは今までと違った環境のもとで、新しい学校生活が始まります。

特に中学校を卒業された皆さんは、9年間の義務教育を終えて、自分が選んだ道を歩いていくこととなります。これまで慣れ親しんだこの下北山村を離れ、また親元を離れての生活です。今までと全く違った環境の中で新しい生活がスタートします。色々戸惑いなどもあると思いますが、精一杯頑張ってください。

## 中学校

伊藤	藤岡	正岡	男樹	大松	城谷	航達	貴真
西松	本井	大真	樹綾	後中	呂門	美絵	里奈
北平		佳	穂	福	本	みのり	

(計10名)



東寒	作保	聖	悟	大寒	谷	侑涼	平大
久竹	株村	那菜	大子	栗栗	作本	愛晴	美紀
西福	岡	那喜	那隼	竹平	本	夏	苗

(計11名)

## 小学校

和田	恵田	歩妃	嶋那	中中	来真	美子
野	田	那	中	村	真	子

## 保育所



### 自治体放送(11チャンネル)がデジタル放送開始!

平成23年7月末をもってテレビのアナログ放送が終了する事に伴い、村では地域活性化・きめ細かな臨時交付金により自治体放送(11チャンネル)をデジタル化に整備致しました。

今年1月より、自治体放送を試験的にデジタル放送にて行っていました。3月1日より本格的に稼働することとなりました。今回のデジタル化工事により、以前のアナログ放送に比べより鮮明に写るようになりました。

なお、現在ご家庭でご使用のデジタル化対応テレビは、メーカーにより自動的に自治体放送がデジタルでご覧になれるタイプと、チャンネル設定を再度行わなければならないタイプがございます。操作方法は、現在ご使用のテレビの取扱説明書をご覧頂き設定を行うか、ご購入店までご相談下さい。

※本村では、アナログテレビ(ブラウン管テレビなど)をご利用の方でも、平成26年3月末までは、チューナーを取り付けなくてもご覧いただけます。(こまどりケーブルに加入している方のみ。)



# 第6回 市町村対抗 子ども駅伝大会開催!



3月5日に第6回市町村対抗子ども駅伝大会が馬見丘陵公園(河合町)で行われました。

大会前日には雪がちらつくほど冷え込みが増していましたが、当日は好天に恵まれ、応援の保護者の声にも力が入っていました。

今回の大会は、奈良テレビとこまどりケーブルテレビが実況中継するなど大いに盛り上がり、県内37市町村のチームが参加、約15kmを男子4名、女子4名の8区間で競技が行われました。昨年までは、9区間で競っていました。今年から1区間減らしたようです。

また、がんばってきた補欠の選手に対しても今大会ではタイムト

ライアルレースが設けられ、各市町村から女子63名男子69名がタイムを競い合いました。  
結果は駅伝については、全体で30位、村の部では、4位と健闘いたしました。都会の選抜チームとは違い選手層の薄い山間部のチームですが、今回の6年生の想いを、5年生は来年に向けて引き継いでがんばっていただきたいと思えます。



## 医学の豆知識

### アレルギー性鼻炎

—特に花粉症でお悩みの方へ—

アレルギー性鼻炎は鼻の粘膜の病気で、発作性の繰り返すくしゃみ、水のような鼻水と鼻詰まりの症状があり、現れる時期や期間から、1年を通じて起こる通年性と季節性に分けられます。  
通年性の原因は、主に室内の塵やダニです。季節性のアレルギー性鼻炎は花粉症と呼ばれ、スギ花粉による花粉症が増加しています。

一般の人にスギ花粉に対するアレルギーがあるかどうかを調べたところ、最近では約60%に陽性反応が出るといわれています。  
花粉症が起こるのは、花粉に対してアレルギーがある人の鼻粘膜に花粉が付くと、マスト細胞と呼ばれる細胞の表面で、膜にある免疫抗体に、花粉が抗原として結合します。そして、化学伝達物質であるヒスタミンやロイコトリエンなどが放出され、これらの物質が、粘膜の知覚神経や血管に反応して鼻炎症状が現れるためです。

治療は、主に抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、鼻噴霧用ス

テロイド薬が用いられ、症状と重症度に応じて、単独または組み合わせ治療が行われます。なお、治療効果は、花粉が飛び始める少し前から早めにこれらの薬を服用した方がよいので、花粉情報を参考に担当医と相談してください。  
また、花粉回避の対策も重要です。花粉情報を参考に、メガネやマスクの着用、家の中に花粉を持ち込まないために洗濯物を室内で干す、帰宅時は服や髪を払ってから家に入り、洗顔、うがい、鼻をかむことなども大切です。  
奈良県医師会

### 大小井地区のNTT ドコモ携帯電話基地 局が開局に!

昨年から大小井地区墓地横に完成していました、NTTドコモ携帯電話基地局が、3月25日より通話可能となりました。

平成23年度も村内では、更に携帯電話基地局が増設される計画がありますので、随時お知らせさせていただきます。

3月初旬に、子どもの任意予防接種のうちインフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンなどの同時接種を受けた乳幼児が死亡する報道がありました。ワクチン接種と死亡の関連性はいまだ不明とされていますが、念のため、左記のワクチン接種を一時見合わせることにになりました。

- ・インフルエンザb型（ヒブ）ワクチン
- ・小児用肺炎球菌ワクチン



### 子どもの予防接種一時見合わせるについて

今回の東北地方太平洋沖地震の惨状を目の当たりにして、天災の恐ろしさに身震いされた方も多いかと思えます。人ごととは思えない今回の災害に、学ぶことも多くありました。

震災・津波等に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

現在のところ、期間は未定です。再開の目処がたちましたら改めてご案内いたします。

### CKD（慢性腎臓病）予防講演会

CKD（慢性腎臓病）とは、透析や心臓病など、生命や健康に大きな影響を与える病気ですが、早期に治療を行えば、進行を予防することが出来る病気です。

けれど、CKD（慢性腎臓病）に対する認知度は低く、発見が遅れがちです。

今回、下北山村では総合健診前に講演会を開催し、腎臓専門医より、CKD（慢性腎臓病）に関して分かりやすく説明をして頂く予定です。どうぞ、皆さまご参加下さい。

#### 【演題】

『CKD（慢性腎臓病）って？』

（C）ちゃんとうこう

（K）健診に

（D）大事な身体を守るため』

【日時】平成23年4月18日（月）

午後7時～8時30分

【場所】下北山スポーツ公園

【講師】奈良県医科大学

（腎臓専門医）

准教授 赤井靖宏先生

### 心の健康づくり相談会

今年度も引き続き心の健康づくり相談会を定期的で開催していく予定にしています。

友人にも家族にも話せない悩みは、時に心だけではなく体の健康にも影響が及ぶことがあります。自分で何とかしないといけないと思わず、まずは悩みを解決するための糸口を探しにいらっしやいませんか？

相談内容はどんな些細なことでもかまいません。また、お話いただいた内容は秘密厳守されます。

#### 《今後の開催予定》

4月23日（土）

5月8日（日）

※いずれも午前9時～午後3時

当日は電話相談も承っています。相談会には事前申し込みが必要です。お気軽に保健センターまでご連絡ください。

【保健センター】6・0015



## 下北山村消費生活相談窓口を開設

平成23年3月1日より役場に相談窓口を開設いたしました。

相談の時間は、月曜日から金曜日（祝祭日を除く）、午前8時30分から、午後5時15分まで相談窓口を開設します。

相談内容は

訪問販売、利殖商法、電話勧誘販売、催眠商法、架空請求、振り込め詐欺等の悪質商法一人で悩まないでご相談下さい。

【役場住民課 消費者行政係 電話6-0001】

### 駐在さん通信



これらは一部ですが、東北地方太平洋沖地震の義援金の名の下に、いろんな詐欺事案が増えてきます。役場に確かめる等確認し、被害に遭わないようお願いいたします。

### ★鉄製品の盗難事件発生

これも東北太平洋沖地震の関係からか、林道のグレイチング、トンネルや橋に取り付けられた銘板が盗まれる事件が吉野郡内で発生しています。今後多発すると思われるので、山林労務等に行かれ、不審車輛を見たときはナンバーをメモし直ぐに110番してください。

### ★東北地震の義援金名目詐欺の増加

この度発生しました東北地方を中心とした東北地方太平洋沖地震について、各方面で支援活動が活発に行われる中、義援金集めの詐欺が横行しています。吉野郡内でも家庭に電話が入り始めていますので、次の点に注意してください。  
◎役場職員(実名)をつかい義援金を振り込んでとの電話依頼  
◎役場職員と名乗り直接自宅へ訪問し寄附させる  
◎公的機関と紛らわしい名前を使用し振込を依頼

### ★春の交通安全運動の実施

平成23年5月11日～5月20日の間、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動基本に「交通事故のないやすらぎの大和路づくり」をスローガンとして実施されます。行楽時期を迎え本村にも、他府県から車・オートバイが多く入ってきますので、十分注意して交通事故に遭わないでください。

### こちら消防分遣所



### 「その油断 緑の森を 火の海に」

平成23年全国山火事予防運動統一標語

春爛漫とは言え、まだ山林では枯葉や枯草が多く、乾燥した空気と季節風などの気象条件から、山火事の危険性が高い状態が続いています。

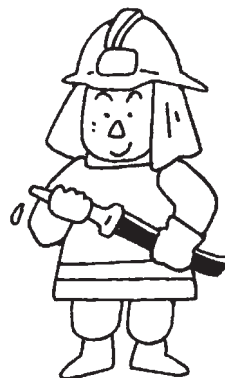
山火事が発生すると、道路状況が悪いうえ消防水利が不足しているなどの悪条件が重なり、火災が広範囲に及ぶことがあります。山林は貴重な資源です。一度焼失すると、回復には長い年月と多くの労力が必要になります。さらに、森を失うことにより山地の保水能力が低下し、台風や大雨による洪水をはじめ、土砂崩れなどの自然災害を招くことにもつながります。

私たち自身の安全のためにも、山林を火災から守りましょう。

★たき火は、水や土をかけて完全に消す  
〈注意事項〉

- ★たき火は、乾燥注意報発令中にはしない
- ★タバコは必ず消すとともに投げ捨てない
- ★山林に隣接する家庭は、煙突火の粉の飛散に注意する

【吉野広域行政組合消防本部】  
電話 0746・32・1011  
FAX 0746・32・0130



### 火の用心

# てんいち先生



## 村長室

## から

92



3月11日、宮城県沖で「マグニチュード9.0」という未曾有の大地震が発生しました。発生当日は役場において、テレビを見ながら、これは大変なことになったと思いましたが、日が経つにつれその被害の大きさが明らかになり、衝撃をうけています。

予想したでしょうか。福島原子力発電所も、津波の被害で壊滅的な打撃を受け、放射線の流出により危険な状態に陥りました。その復旧にあたり、東京電力の関係者は勿論のこと、自衛隊や消防庁等の危険を顧みない行動には、職務上のこととはいえ、頭の下がる思いです。

英国、デイリー・ミラー紙は感嘆をもって、日本人の様子を次のように伝えています。「泣き叫ぶ声もヒステリーも怒りもない。日本人は、黙って威厳を持ち、なすべき事をしている。」

また、ラジオではこんなことも耳にしました。「レジに並んだ小さな女の子が、『お母さん、こんなに沢山のティッシュはいらないよね』、母親も『そうだね、返し

て来てくれる』とのやりとりに、周りの人達も、買い込んだ品物を返しに行く光景がみられた。」

私たちに何が出来ようかと考へる毎日ですが、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を願うものです。



### 子育ておめでとう



田中 絢一朗 くん(浦向)

二月四日誕生  
父/耕一 母/綾子

上田 優美 ちゃん(上池原)

三月六日誕生  
父/真吾 母/ひとみ

謹んでお悔やみ  
申し上げます

橋詰 ナラ子さん(佐田)

三月二十五日  
享年七十四才

昨年度もたくさんの方々からシルバー募金・ふるさと寄附にご協力いただきありがとうございました。

#### 《平成22年度》

◆シルバー募金合計(28件)

一、三七〇、三五六円

◆ふるさと寄附合計(16件)

五四〇、六〇〇円